

美山学だより

美山小学校では昨年度から「美山学」と題して美山の歴史・文化・人・物・事を教材として学び、表現力やコミュニケーション能力を高める学習に取り組んでいます！

南丹市立美山小学校

Tel : 75-0017 FAX : 75-0106 Mail : miyama-es@kyoto-be.ne.jp

平成 29 年 12 月 20 日発行 NO. 8

3年生 美山のお宝発見！

- ◆ 湯葉(京・美山ゆばゆう豆さん)
- ◆ こんにゃく(萱野こんにゃくグループさん)
- ◆ 味噌(下吉田味噌加工グループさん)

3年生は3つのグループに分かれて、お宝の製造元へ行かせてもらい、見学、体験を通して、なぜ美山のお宝なのかを学習し、見つけた秘密やわかったこと、みんなに知ってもらいたいことなどをまとめて交流し合いました。湯葉、こんにゃく、味噌・・・すべてに共通していることは、この美山だからこそ得られるきれいな水、自然を生かして育てられた作物を使い、それらを熟知し、手作り手作業で安心・安全な商品をめざして、多くの人に喜ばれるものをつくり続ける「まごころ」がこめられているところです。そしてそれを受け入れる風土が培われていることがよくわかりました。

見学では、自分が体験し感じたことを素直に表現し、もっと知りたいという気持ちで学習に取り組んでいる3年生の姿がありました。まさに「美山学」がめざすところの「人・物・事から学びを深め、チャレンジ精神や表現力を高めること」と子どもたちが地域の学習を深めることによって「地域が元気になる、希望が膨らむ」過程がこのお宝発見にはあるような気がします。研究発表会(11月30日)の授業においてもゲストティーチャーとして「ゆう豆」の太田雄介さんにお世話になりました。



↑京-美山ゆばゆう豆さん



↓萱野こんにゃくグループさん



↑下吉田みそ加工グループさん

保育所訪問 1年生

11月10日にみやま保育所、11月16日に知井保育所を訪問し、年長児のみなさんと交流しました。はじめに自己紹介をし、「おむすびころりん」の劇を発表しました。劇は、保育所全員の幼児と先生方が見てくださり、笑顔で拍手をしていただきました。次に、クイズをしました。年長児はよく考えて答えを発表してくれました。最後に、転がしドッジをしました。1年生は、やさしくボールを転がしたり、ボールを譲ってあげたりしていました。年長児との交流で、多くのことを学び、仲良くしたいという気持ちを高めることができました。2月の新1年生体験学習でまた会えることを楽しみにしています。



長谷井堰は、やっぱりすごい！

4年生 昔も今も、そしてこれからも「きょう土の発展に尽くす」

9月初めに長谷にある5年生の田んぼを見学し「用水路を流れている水はどこから来ているの？」と疑問をもち、仮説を立て、調べ学習を始めました。そして長谷井堰の存在を知り、フィールドワークに行き、調べたことを大きな水路マップ表しました。学習のまとめの発表を長谷在住の菅生健さんに聞いていただきました。菅生さんは、子どもたちの発表を最後までじっくりと聞いて、「みんなよく調べたね。」



と、まず子どもたちの学習の過程を褒めてくださいました。そして、調べ学習ではわからなかった、長谷井堰ができた当時の様子や住民総出でがんばっておられたこと、幾度となく台風で襲われながら、その都度、補修工事をし、土砂で埋まった水路の復旧に取り組み、今日に至っていることを教えてくださいました。ありがとうございました。



Web 交流5・6年生 240 kmもなんのその！瞬時にアクセス！ 第2弾

11月28日(火)5・6年生は、島根県隠岐郡海士町の福井小学校、海士小学校の5・6年生と2回目となる遠隔交流学習をしました。直線距離にして240 km、飛行機、船を利用してもその日のうちに行き帰ってくるのは難しい隠岐諸島にある「中ノ島」という島にある二つの小学校です。

福井小学校5・6年生(複式学級)と美山小学校の5年生の交流では、今回は、美山小学校が中心になって発表し、9月に実施したホームステイの体験や美山の農業について調べたことなどを発表しました。福井小学校の児童からは、「川での魚釣りやおいしそうなお食べ物、自然いっぱいのなかでのホームステイはとても楽しそうですね。ぜひ行ってみたいです。」「美山では農家さんの工夫があって、おいしく安全、安心な農作物があるのだとわかりました。」などの感想が出ました。また、作物の鳥獣被害について、「どんな動物がいますか？」という質問に「クマやシカ、サルなどです。海士町にはどんな動物がいますか？」とこちらからも質問を返して、帰ってきた答えが「カラスです。」「・・・へえ〜。」

海士小学校5・6年生(複式学級)と美山小学校6年生の交流では、「美山34カンパニーが取り組んでいる『美山ブランドシール』のこと」を会社設立や、ふらっと美山へのPR活動について詳しく発表



しました。海士小学校の児童からは、「すごいですね。素敵なシールが19種類もできてそれが特産物に貼ってあって、たくさんの方が買っていて、私たちもほしいと思いました。」などの感想とともに、質問もたくさん出ました。

海士町では、「子ども議会」という取組をされており、児童のみなさんは、一つの質問や感想から話題を広げていくのがとても上手でした。また、お互いに見習うべきところが瞬時にわかるのもWeb交流の良いところだと感じました。



美山の**自然** すぐきなところがいっぱい
2年生



道徳で「この町だいすき」の資料を使って、美山の隣の町、京北の春夏秋冬の中で変化する豊かな自然のよさを学習しました。生活科でも、岩江戸公園に行って草花やどんぐりを拾ったり、住んでいる地域の身近な自然を見つけたりしてきました。

11月30日の研究発表会の授業では、知井にお住まいの河野啓介さんに芦生の山のお話を聞きました。子どもたちは、芦生の写真を見せてもらって、「こんなきれいなところがみやまにあるんだなあ。行ってみたいなあ。」「千年前の大スギがあるんだとわかって、すごいと思ったし、見てみたいと思いました。」など、美山の自然の新たな一面を発見できた喜びに浸っていました。

本格的活動

美山**34**カンパニー「出だし好調！缶バッジプレゼント第一号！」
6年生



11月20日に美山34カンパニー（加地優咲希 社長以下34名社員全員）がふらっと美山へ「美山ブランドシール」の宣伝活動に行きました。美山ふるさと株式会社の奥本浩二代表取締役様に激励の言葉をいただき、4つのグループに分かれて、ふらっと美山、観光協会、牛乳工房、美山七輪亭へ出向き、会社のPRとともに、美山特産の野菜や加工品のよさを美山ブランドシールでさらに広め、美山をさらに有名にしたいということ、それぞれが作成した名刺交換とともに営業活動をしました。この日はMBS（毎日放送）「ちちんぷいぷい」が朝から美山34カンパニー取材しており（11月23日放送済）テレビカメラが入っていることもあり、社員も張り切ってシールを商品に貼ったり、お土産を買っている観光客にもシールのことを説明したり売り込んだりと活躍しました。

シールは全部で19種類あり、すべてをシールラリーの台紙に貼ってお店（ふらっと美山）に持って行くと特製缶バッジがもらえます。この日はちょうど大阪からバスツアーの皆さんが来られており、お客さん同士で協力して19種類のシールを集めて、さっそく缶バッジが贈られました。美山の農家や工房のみなさんが自信をもって作られた野菜や加工品の販売促進になることを願っています。12月15日（金）は知井、宮島、大野、鶴ヶ岡のお店（かやぶきの里、糸びす屋、大野屋、タナセン等）に行かせていただきました。「美山ブランドシール」がより多くの店で見られるようになります。「うちの商品にもぜひ貼って、美山のよさを広めたい！」と思われ、事業主さんがおられましたら、ぜひ美山34カンパニーまでご連絡ください。



5年生 **農**される思い
美山で

2学期は「美山の農業について知ろう」をテーマに総合的な学習を進めています。11月に、米山政郎さん、東智也さん、岩瀬このみさん、外田遼さんの4軒の農家さんを訪問したり、学校に来ていただいてお話を聞いたりしました。どの方も、担い手不足等農業が抱える問題がある中で、美山への「思い」や「こだわり」を持ち、美山で農業を始め、続けておられることについて熱く語られ、5年生も熱心に聞き入っていました。「先祖代々伝えられてきた農業を、次の時代を担う君たちに受け継いでもらえるよう、今わたしたちが頑張っている。」というお話が印象に残りました。たいへん深い学びができ「将来、農業をしたいと思う。」と感想を述べる子もいました。



↑野添 東智也さん



↓又林 米山政郎さん



↑内久保 外田遼さん



↑北 岩瀬このみさん

続！
5年生 **ホームステイ & おいしいお米販売！**

9月に地域のみなさんのご家庭でホームステイをお世話になった5年生のその後、とあるご家庭に自分たちから再訪問する子どもたちの姿がありました。休日を利用してのショートステイは受け入れ家庭の方からハグの大歓迎を受け、楽しい時間を過ごすことができました。ホームステイの別れ際「また来てね！」が実現したことに、保護者の方からも、このホームステイが無ければ生まれなかったつながりに、感謝の気持ちと、大切にしたい想いを寄せて頂きました。

米販売まで完了です！

春の田植えに始まって、秋の稲刈り、脱穀、精米した米を美山ふるさとまつり会場にて販売する予定でしたが、ご存知の通り台風の影響でまつりが中止となりました。そこで、急ぎよ12月9日に鶴ヶ岡で開催された「森の京都」教育民泊フォーラム会場にて米販売をさせて頂きました。生産者さんの立場から消費者の気持ちを考える販売者の立場まで、美山学を通した学びはさらに深まりました。

美山小学校では、今後も地域と協働した教育活動を展開したいと考えています。子ども達の「美山学」の学びやホームステイをともに進められた方には、ぜひとも美山小学校までご一報ください。

HP もご覧ください

美山小学校のホームページでは美山学の最新情報のほか、美山34カンパニーのページ、日々の子どもたちの様子も随時更新中です！コチラ➡

